

參謀總長、教育總監へ照會案

陸普

首題、件別紙ノ通改定致度異存ナクハ可
仰 允裁理由書ヲ添へ照會ス

五四二四號

昭和參年七月廿八日

右異存ナキ回答アリタル後

陸軍工兵學校條例中改定及施行ノ件

上 奏 案

(軍令案)

陸軍工兵學校條例中別紙ノ通改定相成
之カ施行ヲ命セラレ度理由書ヲ具シ謹テ

奏ス

(別紙)

陸軍省
陸軍部
陸軍省
陸軍部

右軍令公布、後

内閣總理大臣へ報告案

陸軍工兵學校條例別紙ノ通改定相戒候条
及報告候也
陸軍部第五五〇七號
昭和三年七月七日

陸軍

朕陸軍工兵學校條例ヲ改定シ之カ施行ヲ命ス

御名 御璽

年 月 日

三月八日官報掲載済

官報照合済



陸軍大臣

軍令陸第 九 號

軍令陸第九號

寄附



陸軍工兵學校條例中左ノ通改正ス

陸軍工兵學校條例ヲ陸軍工兵學校令ニ改ム

第一條中又上等工長ニ必要ナル學術ヲ教育セラ

削ル

第二條 學生ハ工兵大(中)尉(時トシテハ少尉)ヲ以

テ之ニ充ツ

第三條中「各兵科」ヲ「各兵科（聴察科）」ニ改ム

第五條中「研究試験」ニ充ツル為「研究試験」ニ充テ

且電氣中隊ノ教育ヲ行フ為ニ改ム

第六條中「副官」ノ次ニ「学校附」ヲ加入「主計及軍醫」ヲ

削リ「教導大隊中隊長」ノ次ニ「教導大隊電氣中隊

長」ヲ加入「主計及軍醫」ヲ削ル

第九條中「主計及軍醫」ヲ「学校附」ニ改ム

第十三條中「教育部長及教官」ヲ「教育部長、教官及技

師」ニ改ム

第十五條中「下士」ヲ「准士官、下士」ニ改ム

第十六條「學生」ノ修學期ハ概本八月トス

- 第十八條 學生分遣ノ告達アリタルトキハ所管
長官ハ修學ニ適當ノ者ヲ選定シ入校期二十日
前ニ其ノ官等氏名ヲ工兵監ニ通報スヘシ
- 第十九條 學生ハ校外ニ居住セシメ修學ニ要ス
ル兵器、馬匹、圖書、器材、消耗品等ハ之ヲ貸與又ハ
支給スルコトヲ得
- 第二十一條 學生中疾病其ノ他ノ事故ニ因リ學
術修得ノ見込ナキ者ハ校長其ノ事由ヲ具シ工
兵監ノ認可ヲ受ケ退校セシム
- 第二十二條 中「調査」ヲ「審査」ニ改ム
- 第二十三條 教導大隊ニ分遣スルハキ兵卒ハ初年兵

ヨリ選拔シ下士ハ尚二年以上現役ニ服スヘキ者ナルコトヲ要ス

第二十四條ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ電氣中隊兵卒ハ小銃ヲ携行セサルモノトス

第二十五條 職員ニハ校務上便宜ノ時期ニ於テ隊附勤務ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十六條 研究又ハ教育上必要アルトキハ校長ハ師團長又ハ陸軍航空本部長ニ稟議又ハ協議シ其ノ軍隊又ハ學校ヲ使用スルコトヲ得

附

則

本令ハ昭和三年十二月十日ヨリ之ヲ施行ス但
 昭和三年度及昭和四年度ニ限り仍従前ノ規定ニ
 依リ乙種學生ノ教育ヲ行フモトス

理

由

書

昭和三年軍令陸乙第六號陸軍平時編制改正ノ結
 果陸軍工兵學校教導大隊内ニ電氣中隊ヲ編入セ
 ラレタルト陸軍工兵學校出身工長ノ充實ニ伴ヒ
 昭和五年度以降工兵下士ヨリ陸軍工兵學校乙種
 學生ノ課程ヲ經テ工兵上等工長ト爲スノ途ヲ存
 スルノ要ナキニ至リタルト研究^又ハ教育ノ必要
 上航空諸部隊ヲ使用シ得ルノ途ヲ開キ併セテ字
 句ヲ修正スルノ要アルニ由ル

新舊對照

乙種學生廢止ノ為

陸軍工兵學校條令（軍令陸七）

第一條 陸軍工兵學校ハ學生ニ工兵技術戰術及交通術等ヲ修得セシメ之ヲ各隊ニ普及シ且常ニ是等諸學術ノ調査研究ヲ行ヒ以テ工兵教育ノ進歩ヲ圖リ又上等工長ニ必要ナル學術ヲ教育シ且工兵用兵器器具材料等ノ研究試驗ヲ行フ所トス

第二條 學生ハ今チ在リニ種トス

乙種學生廢止ノ為

甲種學生ハ 工兵大尉（時トシテ少尉）ヲ以テ之ニ充ツ

乙種學生 上等工長タルハキ工兵下士ヲ以テ之

充ツ

憲兵科

第三條 前條ノ外臨時ニ各兵科佐尉官下士ヲ召集

シ必要ノ修學ヲ爲サシムルコトヲ得

第四條 學生ノ教育ニ任セシムル爲本校ニ教育部ヲ置

ク 且電氣中隊ノ教育ヲ行フ

第五條 學生ノ教育並諸般ノ研究試驗ニ充ル爲

本校ニ教導大隊ヲ置キ工兵隊ヨリ兵卒及所要ノ

電氣中隊ノ新設ニ伴フ増補

電氣中隊ノ新設ニ伴フモノ

步兵學校令、戸山學校令ノ例ニ倣ヒ
主計、軍医及兵科ノ學校附ヲ併セ
學校附ト改ム

下士ヲ分遣シテ之ヲ編成ス

第六條 本校ニ在リノ職員ヲ道フ

校長

副官

學校附

軍醫

教育部長

教官

技師

教導大隊長

教導大隊副官

教導大隊中隊長

教導大隊電氣中隊長

准士官、下士、判任文官

第七條 校長ハ五兵隊ニ隸シ校務ヲ總理シ學術進

歩ノ責ニ任ス

第八條 副官ハ校長ノ命ヲ承テ校中上級ノ庶務ヲ掌

乙種學生廢止ノ爲

第九條 學校附 軍計及軍醫ノ校長ノ命ヲ承テ右其ノ權

任ノ業務ヲ掌ル

第十條 教育部長ハ校長ノ命ヲ承テ學生教育ノ計畫及其ノ實施ニ任ス

第十一條 教官ハ教育部長ノ命ヲ承テ學術ノ授業ヲ不擔ス

第十二條 技師ハ上官ノ命ヲ受テ技術ヲ掌リ又學術ノ教授ヲ不擔ス

第十三條 教育部長及教官ハ校長ノ命ヲ承テ諸般ノ調査研究試驗ヲ不擔ス

第十四條 教導大隊職員ノ服務ハ軍隊内務ノ定則ヲ準用ス

第十五條 准士官 下士官判任文官ハ上官ノ命ヲ承テ各其ノ業務ニ服ス

第十六條 學生ノ修學期ハ申權學生存在ノ概不ハ月、乙種學生ニ在リテハ概不トス

乙種學生廢止ノ爲

第三條 學生及第三條ニ依リ召集スル者ノ人員、

入校若ハ召集期日迄召集期間ハ教育總監ノ通牒ニ依リ陸軍大臣之ヲ告達ス

第十八條 學生ノ遣ノ告達アリタルキハ所管長官ハ

都監長^ハ修學ニ適當ノ者ヲ選定シ入校期二十日前ニ其ノ官等氏名ヲ陸軍^兵部^長ニ通報セシム

第十九條 士官學生及陸軍科病在下士學生ハ校外ニ

養育施設在下士學生ハ校中居住セシメ修學ニ所^要ノ兵器^ヲ帶^スル^ヲ禁止^ス馬^匹馬^具圖書^及器^具等^ハ之^ヲ貸與^ス又ハ支給^スル^{コト}ヲ得^ル 材及消耗品等

下士學生ハ兵器^ヲ帶^スル^{コト}禁止^ス校中居住下士學生ノ被服^ハ所屬

隊^中之^ヲ發行^セシム

第二十條 學生^ノ職務^及其^ノ他^ノ事務^ニ關^スル^事件^ハ總

務^長官^ノ管理^ニ屬^ス

第二條 學生^ノ情^狀ヲ^以テ^テ退^校ス^ルコト^ヲ許^ス

學生^中疾病^集、他^ノ事故^ニ因^リテ^テ學^術修^得見^込キ

者ハ校長其ノ事由ヲ具シ工兵監ノ認可ヲ受テ退校
セシム

第三條 校長ハ學生ノ修學期末ニ於テ學生成績ヲ
調査シ修業成績書ヲ調製シ工兵監ノ認可ヲ受テ

所管長官ヲ經テ本人所屬ノ部隊長ニ送付スヘシ

第五條 教導大隊ニ分遣スル兵卒ハ前年入營ノ者
ヨリ選拔スルシ但シ長勤務ヲ著シ及歸職トスル者

ハ前年入營ノ者ヨリ以テ之ニ充ツルコトヲ得

第六條 教導大隊ニ分遣スル下士兵卒ハ所屬隊ヨリ其
ノ兵器被服ヲ携行セシム但シ電氣中隊兵卒ハ銃ヲ携行セザル

第七條 教官ハ教育上便宜ノ時期ニ於テ隊附勤務
ヲ爲サシムルコトヲ得

第八條 研究又ハ教育上必要アルトキハ校長ハ師團
長ニ稟議シ其ノ軍隊ヲ使用スルコトヲ得

附則

本令ハ大正八年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ甲種學生
ハ大正九年ヨリ乙種學生ハ大正十年ヨリ之ヲ入校セシ

歸隊後尚在隊スルヲ必要トスルニ
由ル
電氣中隊ノ新設ニ伴フモノ

乙種學生廢止ノ為

ム

附則

本令ハ昭和三年十二月十日ヨリ之ヲ施行ス

但昭和三年度及昭和四年度ニ限リ仍從前ノ規定ニ依リ乙種
學生ノ教育ヲ行フモノトス

0641

閣

陸軍省
文書
第九四七二

參謀
本部
發日第九五七號ノ二

陸軍省
3. 2. 4
午 9時
官 社 後

陸軍兵學校條例中改正件回答

昭和三年十二月三日 參謀總長鈴木

陸軍大臣白川義則殿

首題ノ件ニ關シ十一月二十八日附陸普第五四二四號ヲ以テ

照會ノ趣異存無シ

3. 12. 8
課 25
事務課

陸軍

21917

0642

教庶第貳壹〇〇號

陸軍工兵學校條例中改正ノ件回答

昭和參年三月壹日

教育總監 武藤信義

陸軍大臣 白川義則殿

十一月二十八日附陸普第五四二四號照會ニ
係ル首題ノ件異存ナシ

陸軍

之、1949